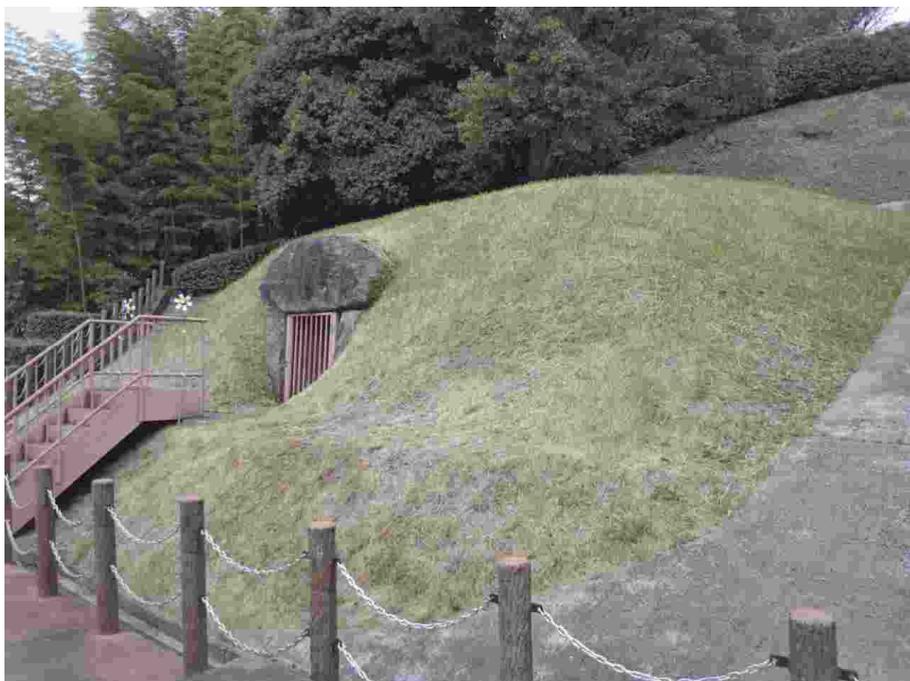


# ふるみやこふん 55. 古宮古墳



## DATA

所在地 大分市大字三芳字宮畑  
所有者 大分市

### 概要

7世紀末～8世紀初頭に築造された南北12.5m、東西12.0m（1辺約12m）の方墳で、羨道（えんどう）を備え、横口式石槨が南に向け開口しています。凝灰岩の巨石を削り抜いて構築されており、羨道部も凝灰岩の切石を用いて丁寧に造られています。

1983(昭和58)年に、国指定史跡に指定されました。

南に川を臨み、山を背にする、いわゆる背山臨水の立地となっており、風水思想の影響がうかがわれます。

## MAP

